平成 20 年 1 月 31 日

各　位

会社名　　エムケー精工株式会社
代表者名　代表取締役社長　丸 山　永 樹
（ＪＡＳＤＡＱ・コード　５９０６）
問合せ先
役職・氏名　常務取締役管理本部長 高 橋　勇
電　　話　　026－272－0601（代表）

平成 20 年３月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 20 年１月 31 日開催の取締役会において、平成 19 年 11 月７日付けの「平成 20 年３月期中間決算短信」において発表いたしました平成 20 年３月期（平成 19 年３月 21 日～平成 20 年３月 20 日）の通期業績予想及び配当予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．　平成 20 年３月期通期連結業績予想の修正（平成 19 年３月 21 日～平成 20 年３月 20 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前回予想（A）	22,000	920	850	600
今回修正予想（B）	20,000	120	60	80
増減額（B－A）	△2,000	△800	△790	△520
増 減 率	△9.1%	△87.0%	△92.9%	△86.7%
前期実績（平成19年３月期）	21,272	1,196	1,134	835

２．　平成 20 年３月期通期単独業績予想の修正（平成 19 年３月 21 日～平成 20 年３月 20 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益
前回予想（A）	19,000	750	710	500
今回修正予想（B）	18,000	430	380	60
増減額（B－A）	△1,000	△320	△330	△440
増 減 率	△5.3%	△42.7%	△46.5%	△88.0%
前期実績（平成19年３月期）	19,446	1,071	1,103	836

３．修正理由

当第３四半期における当社グループを取り巻く環境は、大変厳しい状況での推移となりました。

連結業績予想につきましては、サブプライム問題に端を発した金融市場の不安定化による信用収縮、世界同時株安など新たなマイナス要因に加えて需要先環境の一段の悪化により収益が低迷いたしました。

売上高につきましては、ことに、情報関連機器におきまして、当社製品の主力需要先でありましたアミューズメント（パチンコ店等）施設に対する法的規制もあり、需要が大幅に減退いたしました。

又、当社グループの子会社、株式会社ニューストは、関係する建設業界が平成 19 年６月 20 日施行の改正建築基準法に伴う建築確認申請の遅れの影響による新設住宅着工戸数の大幅な落ち込みという厳しい環境下にあることに加え、民事再生法の後遺症もあって大変厳しい状況での推移となりました。

利益につきましては、売上高の減少による影響に加え、コスト面での鋼材、プラスチック部品、ゴム用品など多くの仕入原材料・部品が高騰、又、電力・燃料費、運賃などの諸経費も上昇して原価圧迫要因が重なり、大幅な減益を見込まざるを得ないと判断いたしました。

個別業績予想につきましても、上記にご説明いたしました要因によるものであります。

最終の第４四半期において、急激な市況回復は難しいと判断されることから前述の１．及び２．のごとく業績予想の修正を行うものであります。

４．配当予想の修正

(1) 配当予想の修正の内容

	１株当たり配当金（円）
基準日	期　末
前回予想（平成19年11月７日）	18円00銭
今回修正予想	10円00銭
（ご参考） 前期実績（平成19年３月期）	18円00銭

(2) 配当予想の修正の理由

当期の配当予想につきましては、基本方針に則り株主各位への安定した利益還元と内部留保とのバランスに留意した配当を念頭に、期末配当 18 円を予定しておりましたが、当第３四半期における業績及び当期の業績を勘案しましたところ、上記しましたとおり通期業績予想において当初予想しておりました利益を大幅に減額せざるを得ないと判断しましたことにより、誠に遺憾ではありますが、当期の配当予想につきましても、期末配当を８円減額の 10 円に予定を修正させていただくものであります。

以 上